

WEEKLY REPORT

No.1390

<本年度クラブ会長方針>

想いを一つに



ロータリー：変化をもたらす

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 岡村隆徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 春日井和良 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

<2017-18年度R.I.テーマ>
R.I.会長 イアンH.S.ライズリー

第1625回例会

会員増強・

新クラブ結成推進月間

平成29年8月3日(木)

納涼夜間例会

(地区大会決起例会)

於 ルーセント

マリアーシユタワー

出席計算数

51名中44名出席

出席率 96.8%

前々回出席率 96.8%

208.2%

会員 57名

例年プログラム

★宇瀬クラブ奉仕委員

・2017芸協らくて

★納涼夜間例会

ニニコックス

7月6日入会しました。よろしく
お願いいたします。 寺師 栄治
今夜は納涼夜間例会・地区大会決
起例会を楽しみましょう。親睦の
みなさんよろしくお願いします。

- 親睦委員会の皆さん 今夜は宜しく
お願いします。 春日井和良
酒井 修・竹林 正人
丹下 富博・浅野 彰
林 順治・杉浦 令淑
吉田 明夫・川島 勇基
中原 康雄・大上 晃延
田崎 雅三・木村 光徳
近藤宏一郎・鬼頭 茂成
佐藤道太郎・伊藤 正明

地区大会決起例会、万歳!

11月18日(土)・19日(日)の

地区大会、ご協力をよろしくお願

いします。

地区大会成功に向けて一緒に頑張

りましょう。

今日は納涼なんですよね?

無事カムチャッカから戻ってきま

した。

ノルウェーのシンドリが来日しま

した。

吾唯知足。

今年度最初の夜間例会で、地区大

会決起例会とさせていただきます

た。地区大会成功に向けて想いを

一つにして本日は大いに盛り上げ

りましょう。親睦活動委員会一同

会長挨拶

岡村 隆徳

今夜は恒例の納涼夜間例会を地
区大会決起夜間例会として企画し
ました。親睦の皆様にご準備いただ
き有難うございました。今日の会
長挨拶は人工知能関連の小難し
い話を休めさせていただきました。
地区大会開催まであと107日
に迫りました。この会場から地区



大会会場のウ
エスティナ
ゴヤキヤッス
ルを一望でき
ます。
今夜は皆さ



なんとにも
に大いに
盛り上げ
り、地区
大会成功
への想い
を一つに
したいと
思います。
これまで
での地区
大会PR
も皆さん
で手分け
していただき、82クラブ中、今日
2クラブ廻り、あと4クラブ残す
のみとのことです。ほぼクラブ会
員全員にPR訪問を参加いただい
たとお聞きしております。地区内
の他のクラブを見て何かを感じ、
そこから学び、交流を深める貴重
な経験になったと思います。クラ
ブ全員一丸となって協力し成しえ
ることが、明日の名古屋大須RC
につながるかと信じています。

最後に報告ですがヒルウォー
キング部のカムチャッカ遠征から
無事に帰国できました。アバチャ
山登頂におきましては頂上目前で
行く手を阻む強風と視界不良に見
舞われ泣く泣く下山いたしました。
しかし尾上隊長の勇氣ある下山命
令、英断のおかげで無事ここに
います。地区大会実行委員長の素晴
らしいリーダーシップで地区大会
も成功間違いなしと確信しました。

遠征報告は24日のSPEAK O
UT DAYに予定しております。
それでは今日の納涼夜間例会をお
楽しみください。

地区大会実行委員長挨拶

及UPRレテオ鑑賞・乾杯
実行委員長 尾上 昇

納涼夜間例会

於 ルーセント
マリアーシユタワー

親睦活動委員長 加藤巴千彦

今年度初めての親睦活動委員会
の企画「地区大会決起夜間例会」
が名古屋駅前にある名古屋ルーセ
ントタワー40階のマリアーシユタ
ワーにて8月3日に行われました。
今年度は当クラブが地区大会の
ホストクラブでありますので、当
クラブの会員が「想いを一つに」
地区大会の成功に向けて進んでい
く決起夜間例会として、総勢48名
の方々に参加していただきました
こと、厚く
御礼申し上げ
ます。
尾上地区
大会実行委
員長の地区
大会のホス
トクラブと
しての意義
と各実行委
員の方々に
一人ひとりか



一人ひとりか

ら意気込みを語っていた。乾杯で決起夜間例会の幕を開けた。

地区大会に向けての機運を盛り上げるため、ポリネシア・ダンススタジオの3名のダンサーに「太古の昔、男性が戦いに向く前に、女性達が腰を激しく振って踊り、男性の戦つ意欲を高めていた」といわれるタヒチダンス

を披露いただき、近藤明美社会奉仕委員長以下数名の女性会員が飛び入り参加され大いに盛り上げていただきました。

その後、新入会員3名の紹介と40階からの名古屋の夜景を鑑賞していただき、吉田隆彦地区大会幹事による三本締めで中締めとなりました。



和気あいあいとした地区大会決起夜間例会となりましたこと親睦活動委員会一同、感謝申し上げます。次回もまた新しい企画をしてみたいので、「指導」鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

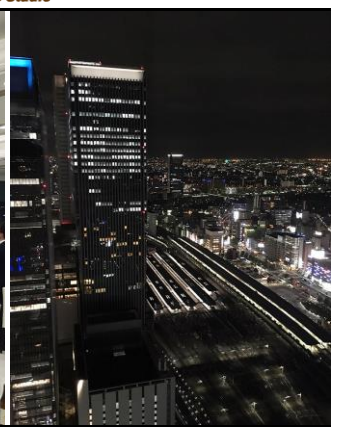
ポリネシアダンス鑑賞



ポリネシアダンススタジオ「Ti'a'oro (ティアオロ)」

閉会の挨拶

地区大会幹事 吉田 隆彦



その他・お知らせ

国際ロータリー・ニュース

2017年7月19日

「サム・オオリ氏を偲んで」
友人や同僚に惜しまれながら、7月13日に手術後の合併症で急逝したサム・F.オオリ会長エレクトを追悼する半旗が、現在、エバンストンにある国際ロータリー世界本部と世界各地のロータリー事務局に掲げられています。

会長エレクトへの道

多くの会員と同じく、オオリ氏も友人からの粘り強い誘いがあってロータリーに入会しました。後年、彼は当時をこう振り返っています。「行きたくありませんでした。関心もありませんでした。しかし、その友人を尊敬していたので、とりあえず行ってみることにしたのです。例会場に足を踏み入れた私は、ショックを受けました。そこにいたのは、私の知る人ばかりだったからです」

ロータリーの活動を目にするうちに、自身も情熱を注ぐようになりました。ウガンダでは、オオリ氏がガバナーを務めた1988年から、ロータリーが大きく飛躍。当時、ウガンダのクラブ数は9でしたが、現在は89クラブにまで成長しました。回国でのロータリーの大成長はオオリ氏のおかげであると考えられています。友人たちは彼の熱心さを「オオリ熱」と呼びましたが、それに対して自身は「これが熱なら、もっと多くの人に感染してほしい」と話していました。

夫婦で世界各地を訪問したオオリ氏とノラ夫人



Monika Lozinska / Rotary International

自身を「救いようのない楽観主義者」と呼ぶ、どんな相手でも良いと

ころを見つけ、どんな状況でも明るい側面を見ることを選びました。穏やかで謙虚な物腰のオオリ氏は「笑顔のサム」として人びとの記憶に残るだろうと、イアン・ライズリーRRI会長は言います。

「楽観主義こそがロータリーの魅力です。しかし、ロータリーはただ夢見る人が集まる場所ではありません。スキルと能力、奉仕を通じて思いやりのある人が集まるころ、それがロータリーです」(サム・F. オオリ、1941-2017年)

記事: Ryan Hyland
Abby Breistein

事務局夏期休暇

- 名古屋大須RCC事務局
- 8月14日(月)～17日(木) ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所・ガバナー事務所分室
- 8月14日(月)～17日(木)
- 8月17日(木) 例会の案内
- お盆休暇
- 8月24日(木) 例会の案内
- SPEAK OUT DAY
- 派遣青少年交換学生帰国報告
- 16-17年度派遣青少年交換学生 足立葉未香

公共イメージ向上委員会

大原 敏正・杉浦 令淑
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。